

令和6年12月市議会定例会

一 般 質 問 通 告 書

(通告者 14名)

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
1	1 中高層建築物火災への対応について 2 消防団について 3 消防職員の充足率向上について	5 番 鈴木 英信 (1) 中高層建築物火災などの都市型火災対策への取組状況について伺う。 (2) 中高層建築物火災対策について、諸団体との情報共有と住民への啓発を行うべき。 (1) 現在の消防団員数と、そのうち、女性、学生、機能別の団員数について伺う。 (2) 機能別消防団の入団条件及び職務の内容について伺う。 (3) 消防団員確保のため、より魅力ある P R 手段とツールを整備すべき。 (1) 火災の発生件数、救急件数、119番通報件数等が増加傾向にある中で、本市の消防職員の充足率とその向上にどのように取り組んできたか伺う。 (2) 消防力強化と安定のため、協力体制の強化に努めるとともに、職員充足率を高めるべき。	消防長 消防長 消防長 消防長 消防長 消防長 市 長 市 長 市 長 市 長	
2	1 名取市墓地公園へのアクセスについて 2 主要地方道塩釜亘理線と県道閑上港線の交差点の渋滞対策について	2 番 今野 慎介 (1) 名取市墓地公園の現在の墓地区画利用状況を伺う。 (2) 名取市墓地公園への行き方に関する問合せの有無について伺う。 (3) 名取市墓地公園への案内表示を適所に設置すべき。 (4) 利用者の利便性向上を図るため、主要地方道塩釜亘理線からのアクセス道路を整備すべき。 (1) 当該交差点の渋滞状況について、どのように捉えているか。 (2) 当該交差点の渋滞回避のため、閑上地区へ自動車が入り込み事故が多発している。その安全対策をどのように考えているか。 (3) 当該交差点の渋滞対策を県に対して強く働きかけるべき。	市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長	
3	1 G I G A スクール構想で整備した端末の更新について 2 認知症対策について	1 6 番 菊地 忍 (1) G I G A スクール構想の下で整備した端末の更新について、どのように進めるのか伺う。 (2) 更新端末について、可能な限り学校内外において再使用すべきと考えるがどうか。 (1) 人間らしさと優しさに基づいた認知症ケアとして、ユマニチュードが注目を集めている。本市でも普及に向け取り組むべきと考えるがどうか。	教育長 教育長 市 長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
	3 奨学金制度について	(2) 愛知県尾張旭市では、認知症の予防対策として実施してきた脳の健康チェック測定を令和6年4月にリニューアルし、VR機器による検査を導入した。本市でも取り組むべきと考えるがどうか。 (3) 青森県弘前市では、認知症高齢者が徘徊したときの身元確認に二次元コードを記載した爪Qシールを配布している。本市でも取り組むべきと考えるがどうか。 (1) 市民の命と健康を守り、将来にわたって安心して医療サービスを受けられるまちづくりのため、医学生に対し返済免除付の奨学金貸与制度を実施している自治体がある。本市でも取り組むべきと考えるがどうか。	市 長 市 長 市 長	
4	1 県立精神医療センターの建て替え用地について 2 公募型プロポーザル方式の運用について 3 総合教育会議の運営について 4 学校法人が所有し疑義が生じている非課税の固定資産について	14番 吉田 良 (1) 県知事から、県立がんセンターの跡地とする案が示されたが、それに対する見解を伺う。 (2) 建て替えが少しでも早く実現するよう、より優位な場所を県に提案するための調整を始めるべき。 (1) 発注形態として公募型プロポーザル方式を用いる場合の基準を伺う。 (2) 透明性・公平性を確保するために留意している内容を伺う。 (3) 適切かつ円滑な運用を図ることを目的とするガイドラインを策定すべき。 (1) 議題とする事項の選定基準を伺う。 (2) 令和5年12月19日にいじめの重大事態が発生した旨の報告を受けた後、そのことを議題とする会議の招集まで約9か月を要したことについて、責任をどのように捉えているのか伺う。 (3) 現行では庶務に関することを教育部長に補助執行させているが、市長部局で処理することを検討すべき。 (4) 文部科学省からの通知等にのっとり、議題とする事項は特に協議・調整が必要と判断されたものを厳格に選定すべき。 (1) 教育活動の実施状況について把握している内容を伺う。 (2) 平成30年11月14日、亘理名取共立衛生処理組合一般廃棄物最終処分場の整備地として貸付けを打診し、同じ日に可能である旨の返答を受けた経緯がある。その前後も含め、固定資産税について協議や確認があった内容を伺う。	市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
		(3) 名取市市税条例第59条に基づく、非課税の規定の適用を受けなくなった場合の申告がこれまでにあったのか伺う。 (4) 令和7年度の固定資産税について、課税すべき。	市 長 市 長	
5	1 女川原子力発電所再稼働について 2 防災教育について	9 番 笹森 波 (1) 令和6年11月に女川原子力発電所が再稼働された。本市はどのように捉えているのか伺う。 (2) 名取市地域防災計画に原子力災害対策について書かれているが、退避・避難・避難受入れや安定ヨウ素剤の配備等を含めた被爆対策は具体的に進めているのか伺う。 (3) 使用済み核燃料の乾式貯蔵施設の設置が確定していない。また、事故発生時の避難計画の実効性が確立されていない状況において、女川原子力発電所の再稼働は市民の命と健康を守る立場で、一旦凍結するよう国や県に要望すべき。 (1) 震災復興伝承館の令和5年度における市内及び市外の小中義務教育学校の利用状況を伺う。 (2) 市内小中義務教育学校において防災教育が行われているが、現状を伺う。 (3) 市内小中義務教育学校で、震災復興伝承館や語り部を活用し、東日本大震災の記憶及び教訓を後世に伝承し風化させないための防災教育をすべき。	市 長 市 長 市 長 市 長 教育長 教育長	
6	1 産後ケア事業について 2 育児ヘルプサービスについて	7 番 二階堂 充 (1) 産後ケアサービスの利用方法及び利用状況について伺う。 (2) 利用者の意見・要望の件数及び内容について伺う。 (3) 利用者の意見・要望を、どのように生かしているのか伺う。 (4) 本市においては現在、通所型のみ補助制度があるが、宿泊型及び訪問型についても制度を拡充すべき。 (1) 育児ヘルプサービスの利用方法及び利用状況について伺う。 (2) 利用者の意見・要望の件数及び内容について伺う。 (3) 利用者の意見・要望を、どのように生かしているのか伺う。 (4) 切れ目のない子育て支援の実現のため、子供の総合相談窓口を設け、こども家庭センターの充実を図るべき。	市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
7	1 名取市民歌について 2 名取音頭について 3 難聴の方への窓口等の対応について 4 受領委任払いについて	13番 菅原 和子 (1) どのような経緯でつくられたのか伺う。 (2) 市民歌の普及について、現在の取組を伺う。 (3) 市民歌を継承していくための仕掛けづくりに取り組むべき。 (1) どのような経緯でつくられたのか伺う。 (2) 名取音頭の普及について、現在の取組を伺う。 (3) 埼玉県所沢市や茨城県神栖市などでは、YouTubeで市民音頭の踊り方のレッスン動画を配信している。誰もが踊れるように、本市でも取り組むべき。 (1) 難聴の方への窓口等の対応の現状について伺う。 (2) 聞こえに不安を感じている人への支援として、安心して窓口でやり取りができるよう、軟骨伝導イヤホンを導入すべき。 (1) 本市の介護保険事業において、住宅改修及び福祉用具の購入は、費用の全額を一旦支払う償還払い制度である。利用者の負担軽減を図るため、受領委任払い制度を導入すべき。	市長 市長 市長 市長 市長 市長 市長 市長 市長	
8	1 動物の愛護及び管理について 2 地域公共交通について	11番 板橋 美保 (1) 飼い主のいない猫の現状と対策について伺う。 (2) 地域猫活動について、地域住民の理解を求めるとともに活動の支援をすべき。 (3) 多頭飼育する飼い主を把握し、適正飼養について必要に応じて助言を行うことを目的に、多頭飼育届出制度を設けるべき。 (4) 動物の愛護及び管理に関する条例を制定またはガイドラインを策定すべき。 (1) 地域公共交通の現状と課題について伺う。 (2) 住民主体の移動支援についてどのように把握しているのか伺う。 (3) 住民主体の移動支援について強化・支援すべき。	市長 市長 市長 市長 市長 市長 市長	
9	1 仙台空港インターチェンジ周辺の産業の創出等について	8番 熊谷 克彦 (1) 仙台空港インターチェンジ周辺の産業の創出等について、現状をどのように捉えているのか伺う。 (2) 地域農業の発展に資する道の駅を、県と連携して設置すべき。その際、農村婦人の家は、道の駅に併設して改築すべき。 (3) 空港周辺の立地を生かし、製造業、流通業等の企業誘致をすべき。 (4) 税制支援等の特区制度を活用し、仙台空港インターチェンジ周辺に企業が進出しやすい環境を整備すべき。	市長 市長 市長 市長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
	2 新総合病院 移転予定地周辺 の市道の4車線 化等について	(1)新総合病院移転予定地周辺の道路について、現状の交通量や渋滞状況をどのように捉えているのか伺う。 (2)救急車両や病院利用者がスムーズに病院に進入できるよう、市道関下植松線、市道飯野坂杉ヶ袋線及び市道植松北線を4車線化すべき。また、国道4号の6車線化を国に要望すべき。 (3)病院へのアクセス道路として活用できる市道本郷北線を早期に整備し、起終点を加味した名称に変更すべき。	市 長 市 長 市 長	
1 0	1 ユニバーサル デザインの取 組について 2 災害対策本 部の初動対応に ついて	1 2 番 大久保 主計 (1)ユニバーサルデザインについて、本市はどのように取り組んでいるか。 (2)市ホームページのウェブアクセシビリティについては評価しているが、加えてルビ、やさしい日本語、ユニバーサルデザインフォントなどを導入し、さらなる推進を図るべき。 (3)窓口にデジタルを活用したタブレット端末などのコミュニケーション支援機器を導入すべき。 (4)納税通知書を先駆的な取組を参考に、見やすく、分かりやすく、伝わりやすいデザインに刷新すべき。 (5)ユニバーサルデザインを意識した市民福祉の向上のため、全庁的な情報共有と取組体制を検討すべき。 (1)東日本大震災第三者検証委員会報告書「第1部災害対策本部初動対応の検証」で、今後の防災対策の方向性として提言された5つの項目について、これまでの取組と課題について伺う。 (2)災害対策本部体制の充実と災害対策本部室の機能確保を図るべき。	市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長	
1 1	1 環境美化と 保全について	1 番 阿部 正義 (1)第二次名取市環境基本計画のアンケート調査結果によると、市民の日常生活における環境への取組状況で、市民が最も実行していることは「ごみ・空き缶などのポイ捨てをしない」という回答にもかかわらず、市全体の改善したい環境としては「まちのきれいさ（ポイ捨て、ごみの散乱）」が上位にある。ポイ捨て禁止を広く啓発・周知するため条例を制定し、散乱防止重点区域を設けるべき。 (2)地球温暖化、高温長期化の影響で、雑草の成長が早くなっている。除草による費用面の低減、人手不足対策、廃棄焼却処分をせず自然や環境に配慮した緑地やのり面等の除草策として、他自治体でも行っているヤギ除草を試験実施すべき。	市 長 市 長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
	2 防犯について	(1) 令和5年6月、県、県警、飲料メーカー3者で地域安全に関する協定締結がなされ、防犯カメラ付自動販売機の設置等を推進している。本市でも、防犯カメラ付自動販売機を導入し、地域の安心安全に努めるべき。 (2) 本市では、子供に対する「ながら見守り」を推進しているが、年齢や性別を問わず、未然に犯罪を防ぐ効果が期待できる「ながら防犯」に拡充すべき。	市 長 市 長	
1 2	1 障害者福祉について 2 デジタル教育の再考について	1 7 番 小野寺 美穂 (1) 障害者の就労事業所である就労継続支援A型事業所の閉鎖が全国で相次いでいる。現状をどう把握しているか。 (2) 市内に居住する就労者への影響をどう捉えているか。 (3) 厚生労働省は「ハローワークが自治体と連携し、希望に応じてきめ細かく再就職を支援する」としている。実態を調査し、情報共有を進め、対応を図るべき。 (1) 現時点において、教育のデジタル化がもたらす影響をどう捉えているか。 (2) 現状、タブレット端末導入による弊害は生じていないのか。 (3) I T先進国であるスウェーデンやフィンランドでは、教科書を含めデジタル教材への移行が進んだ結果、学習への悪影響があるとして、紙の教科書や手書きを重視する「脱デジタル」に大きく舵を切った。この現実をどう受け止めるか。 (4) 現在、20歳から37歳までの、いわゆるゆとり世代の人たちも、大人が進めたゆとり教育により生まれた。本来、総合教育に必要な準備もされないままゆとり教育が導入され、後に修正を余儀なくされている。教育のデジタル化による弊害が先進国において表面化してきている今、再考を促すべき。	市 長 市 長 市 長 教育長 教育長 教育長 教育長	
1 3	1 子育て環境と保育士の充実について	2 0 番 大泉 徳子 (1) 令和6年度より開始した保育士確保策の1つである保育士宿舎借り上げ支援事業について、令和7年度から新規の申請は受け付けないとのことであるが、その理由は。 (2) 人材不足が予測される中、優れた保育士確保のためにも、保育士宿舎借り上げ支援事業は国の制度がある限り継続すべき。	市 長 市 長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
	2 外国人に対する日本語教育の在り方について	(1)外国人住民や外国人労働者等の増加に伴い、日本語教育に対する需要が高まっている現状をどう捉えているのか伺う。 (2)市内で実施する日本語講座の講師が不足している。外国人への教育の機会充実のためにも、市で講師を採用し派遣すべき。	市 長 市 長	
1 4	1 産後ケア事業の改善と周知について 2 広報なとりのアプリ配信について	3 番 佐藤 さやか (1)令和6年10月末時点の対象者数、申請者数、利用者数及び利用率と延べ利用回数について伺う。 (2)産後ケア事業の周知方法と、どのような経緯で申込みに至る場合が多いのか伺う。 (3)現在の日帰りによるケアだけでなく、宿泊型の産後ケアの実施等、利用者の声をもとに改善し、周知を図るべき。 (1)現在の広報なとりの、全戸配布以外の周知方法について伺う。 (2)広報紙を無料配信できるアプリ等を利用し、さらなる情報発信に努めるべき。	市 長 市 長 市 長 市 長	